

北上市立
鬼の館
だより2025(R7).10
第63号

企画展

澤藤範次郎張り子作品展—六原張り子六十年の歩み—開催

会期：8月4日～10月26日

鬼の館といえば鬼剣舞面づくり。面づくりは、型がなければできません。実は鬼剣舞面づくりは26年前の澤藤範次郎さんのある決意から始まりました。「張り子面の型を館に納めることにはいささかの躊躇を感じました。と言うのも、私の仕事上の大事な部分を外に漏らすことになるからです。同業の友人からは止めるように忠告されましたが、37年間この仕事を続けてこられた世間へのお礼の気持で納めたのでした。」(澤藤範次郎氏「H11 親しみ博物館事業報告書」提言からの抜粋) 澤藤範次郎さんの決意と共に歩んできた鬼の館。これからもしっかりと歩み続けます。

鬼の館令和7年度上半期をふりかえって

ギャラリー鬼の館



市民の作品を発表する場として、当館企画展示室を使用して展示会を開催する「ギャラリー鬼の館」を4月から7月の期間に3回開催しました。

第1期は、フォトクラブ写人の皆様による「フォトクラブ写人展」、第2期は照井文雄氏による「切り絵展『伝承』」、第3期は水引くらぶと立花水引サークルの皆様による「彩～四季を彩る水引」を開催し、各回とも盛況でした。

ギャラリー鬼の館は、市内のサークルまたは市内在住の個人の方はどなたでも応募できます。冬に来年度の募集をする予定ですので、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

大乘神楽大会



6月22日に開催した第31回大乘神楽大会は、6団体により10演目が披露されました。30周年特別公演として約12時間にわたって開催した昨年から、今年は通常開催に戻りましたが、約400名と多くの観覧者が訪れ、大乘神楽に対する関心の高さが窺えました。

大乘神楽大会は、当館が開館した1年目から毎年開催されています。地域に伝承される民俗芸能を保存・継承していくという変わらない目的のもと、次の節目に向けて歩みを共にして継続していくことが大切であると改めて感じました。

ナイトミュージアム

9月6日に令和7年度逢魔が時ナイトミュージアムを開催しました。

黒沢尻北小学校合唱部による澄み渡る美しいハーモニーと、台笠保存会による伝統のお囃子・舞が「逢魔が時」の当館を彩り、190名を超す来場者を魅了しました。照明を落とした展示室を懐中電灯の灯りで巡るクイズラリーも好評いただき、普段とは違った雰囲気の中で、文化と芸術を楽しむ貴重なひとときとなりました。



黒沢尻北小学校合唱部

台笠保存会

鬼剣舞ちょこっと体験

たくさんの方々に、北上市の民俗芸能である鬼剣舞を気軽にちょこっと体験していただく「鬼剣舞ちょこっと体験☆夏」を開催しました。昨年度から本格的に開催しており、昨年は延べ人数（夏冬5回合計）で379名の方々のご参加を頂きました。

今年は、7月20日（日）、8月10日（日）、そして9月7日（日）に、岩崎鬼剣舞保存会の皆様を講師に行いました。演目は扇を使い優雅に舞う「三番庭の狂い」。10時から12時の間に、30分程度の体験会を休憩をはさみながら3回行いました。3回連続で参加する子どももいて、いつの間にか踊れるようになり、その吸収力のすごさに指導者の方々が驚くほどでした！

今回も、保存会の方々に丁寧に教えていただきました。そして、たくさんのご参加をいただき確かな手ごたえを感じることができました。



岩崎鬼剣舞保存会の皆さんによるお手本。



親子で楽しく踊れます！

わくわくイベント

今年も恒例の「5月5日こどもの日わくわくイベント」を開催し、大人気イベントである「鬼剣舞面色付け」と「コスプレでGO!」「鬼の秘密をさぐれ！クイズラリー」そして今回初めて開催のイベント「フェルト鬼づくり」を行いました。「フェルト鬼づくり」では、鬼の館の周りから自由に好きな石を拾いそれにフェルトを巻いてオリジナルの鬼を作りました。写真の子供たちの笑顔から楽しさが伝わってきますね！



夏季ワークショップ



夏季ワークショップを開催しました。8月9日は、鬼の館恒例の「鬼剣舞和紙お面づくり」を実施しました。型に和紙を貼り重ね、張り子のお面から作成し色を塗る「全行程の部」と、あらかじめ用意してお面に色を塗る午後からの「色塗りの部」に分けて実施しました。鬼剣舞のお面の型は彫りが深いため和紙を貼り付けることが難しく、苦戦する様子も見られましたが上手に仕上げることができました。長い時間でしたが、みなさん集中して取り組んでいました。8月11日は、「ミニ張子面 狐・ひょっとこ」を開催しました。狐面は、狐剣舞があるため要望も多くあり昨年に続いて2回目の開催でした。親子で楽しみながら仕上げていました。夏休みのよい思い出となりました。

学芸ルームから

企画展「澤藤範次郎張り子作品展～六原張り子六十年の歩み～」

8月4日から10月26日まで企画展「澤藤範次郎張り子作品展～六原張り子六十年の歩み～」を開催しています。澤藤さんの作品展を当館で開催するのは、平成11年企画展「鬼をつくる～和紙面師・澤藤範次郎の仕事～」以来約25年ぶり2回目です。

当館と澤藤さんとの繋がりには開館当時まで遡り、開館準備の際に全国の民芸品や玩具を収集して納品頂きました。また、定番のワークショップ和紙面作りも澤藤さんの考案によるものです。令和2年に「さわはん工房」を閉業された後も日本全国からオファーがあり各地で作品展を開催されています。今回は100点以上と多くの作品が展示され、六原張り子や民芸品のファンにとって充実した内容になっているのではないかと思います。

また、今回は企画展開催の記念作品制作として鬼剣舞巨大起き上がりこぼし制作を期間内に行いました。完成品は展示会終了後も展示する予定でありますので、ご興味のある方はぜひ来館ください。

■鬼剣舞こぼし制作の様子。博物館実習生（東北芸術工科大学・盛岡大学）2名に制作補助していただきました。



■「企画展特別イベント張り子ライブペイント」を開催しました。澤藤範次郎氏による鬼剣舞こぼし制作の実演をし、ご来場の方々は大変貴重な制作風景を見学することができました。

鬼カフェ No.18

澤藤範次郎氏



■ 企画展の作家である澤藤範次郎氏にお話をお伺いしました。

—— 澤藤さんはこれまで様々な作品を制作されてきましたが、これらの作品の発想はどのようなところからヒントを得ているのでしょうか。

澤藤範次郎氏 「何をつくるか」ではなく、いろいろなことを見たり聞いたりしてヒントが出てくる。発見や、気が付いた事からひらめきがある。アイデアをメモに残して制作する。考えてるアイデアを粘土で具体的に表現する。立体の勉強もしているので、自由に表現できている。今回の大きな鬼剣舞こぼしも考えながらアイデアをメモして制作しました。

—— 今回、展示会に合わせ大きな鬼剣舞起き上がりこぼしを依頼しましたが、今まで一番の大作はどういったものでしょう。

澤藤範次郎氏 チャグチャグ馬っこで神輿をつくりたいと言われ、神輿用の2mほどの馬を制作したことがある（滝沢）。大阪の難波では、1m80cmほどの起き上がりこぼしを依頼されて制作しています。

—— 今回は1m20cmほどの大きさの鬼剣舞こぼしをお願いしました。以前はもっと大きな起き上がりこぼしを制作したのですね。

澤藤範次郎氏 19歳から81歳の今まで62年間創作してきて、「基本的に頼まれものは断わらない」で仕事をしてきました。北上で多くの方にお世話になってきているので、北上市の鬼の館で展示会ができて大変嬉しく思っています。

—— 作品に向き合う真摯な姿勢など大変貴重なお話を伺うことができました。ありがとうございました。

館長就任の御挨拶

4月より館長として着任しております齊藤映子と申します。

鬼の館館長の辞令をいただいたとき、これまで経験した業務とは全く別の業務のため不安でもありましたが、郷土の歴史・文化を学ぶ機会を与えられたと思い、日々勉強しております。

4月より多くの芸能公演、ワークショップ等に携わり、地元の皆様方や関係団体の皆様の多大な協力の基に進めることができた事に感謝しております。今後とも鬼の館への応援・協力のほど、よろしくお願いいたします。

鬼の館は平成6年に開館しておりますが、私も平成6年に入庁し、同じ31年目を迎えました。微力ではございますが、鬼の館が今後とも愛され魅力ある場所であり続けるように努力して参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

新任のご挨拶

6月から鬼の館で働かせていただくことになりました、鈴木海と申します。

北上市生まれで、鬼剣舞や鹿踊、神楽に田植え踊り等々と郷土芸能が大好きです。長年医療の場で働いてまいりましたが、地域の文化や郷土芸能に関する仕事に携わりたいと考えていたところ、鬼の館とのご縁をいただくことができました。働き始めてまだ間もないですが、毎日お囃子が聴こえ、鬼剣舞カラーの赤・白・黒が目に入る環境で働けることをとてもうれしく思っております。

ワークショップに訪れる子どもたちや、日本中どころか遠く海外から当館を訪れる方々に、鬼や鬼剣舞の魅力を楽しんでいただくお手伝いできればと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 下半期事業のお知らせ

■ 企画展 特別展

- 11月15日(土)～ 2月8日(日)
企画展「鬼の面(つら)布絵展」

■ イベント

- 2月 1日(日) 福豆鬼節分会

■ 体験会・講座

- 12～1月 冬季ワークショップ(※要申込)
- 2～3月 鬼っ子わんぱく講座
「鬼剣舞ちょこっと体験会」

■ 芸能公演

- 10月 5日(日) 飯豊鬼剣舞少年団
谷地鬼剣舞
- 10月26日(日) 御免町鬼剣舞
- 11月 2日(土) 滑田鬼剣舞
- 11月23日(日・祝) 鬼柳鬼剣舞

■ 毎月第3日曜日はキッズの日

- 鬼剣舞衣装体験(※要申込)
- 鬼剣舞面塗り体験(※要申込)

※事業は急な中止や内容を変更する場合がございます。

企画展
のお知らせ

鬼の面(つら)
布絵
展

宮城県石巻市在住の布絵作家・大島八寿子さんが童話「泣いた赤鬼」に感銘を受けて制作した様々な表情の鬼の面(つら)のタペストリーを展示します。当館での大島さんの作品展は2017年以来で、今回は作品数を倍以上に増やして開催します。



上半期事業報告

●企画展・特別展

- 企画展 ギャラリー鬼の館①「フォトクラブ写真展」 2,081人
4月26日～5月11日
- 企画展 ギャラリー鬼の館②「切り絵展・伝承」 547人
5月24日～6月8日
- 企画展 ギャラリー鬼の館③「彩四季を楽しむ水引あそびー」 995人
6月28日～7月13日
- 企画展「鬼をつくる～澤藤範次郎張り子作品展～」 開催中
8月4日～10月26日

観客数

●大乘神楽大会

6月22日

観客数

350人

●逢魔が時ナイトミュージアム

9月6日

191人

●鬼っこわんぱく講座

5月5日 わくわくイベント
鬼剣舞ちよっこつと体験会
7月20日・8月10日・9月7日

参加者数

97人

368人

●芸能公演

- 4月27日 北藤根鬼剣舞 121人
- 5月3日 黒沢尻鬼剣舞 175人
- 5月6日 鬼柳鬼剣舞め組 134人
- 5月25日 岩崎鬼剣舞 151人
- 6月29日 黒岩鬼剣舞 156人
- 7月27日 口内鬼剣舞 97人
- 8月2日 北上・みちのく芸能まつり公演 540人
- 8月13日 岩崎鬼剣舞 230人
- 8月24日 相去鬼剣舞 169人

●鬼ZZ・プレイミュージアム 4月1日～9月17日

- 和紙お面づくり 110人
- 鬼剣舞衣装着衣体験 20人
- 夏休みワークショップ
- 8月9日 鬼剣舞和紙お面づくり 10人
- 8月11日 ちいさな和紙お面づくり (狐・ひよっこ) 14人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日 ・月曜日(祝日の場合は翌日)
・館内整理日(11月27日～11月30日)
・年末年始(12月28日～1月4日)

交通利用 ・JR北上駅より車で約20分
・東北自動車道「北上江釣子I.C.」秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で約15分

観覧料

区分	個人	団体 (20名以上)	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小中学生	170円	120円	200円

*未就学児は無料です。

*共通観覧券は鬼の館のほか、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。

*定住自立圏(北上市、奥州市、金ケ崎町、西和賀町)に居住する小中学生は無料となります。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料となります。手帳をお持ちの方1名につき、付添の方1名も無料となります。

*北上市消防団員は無料となります。団員1名につき同行者5名まで無料です。受付の際に、消防団員カードをご提示ください。

●学芸ルームのかたすみで

市民ギャラリー展の出品者の方から、水引で作る「松竹梅」などの縁起物の作り方を教えていただきました。水引の知識を活かし、毎月、キッズの日に私が作った水引のストラップをチャレンジカードクイズのご褒美にあげると、子供たちに「とてもきれい!」と喜んでもらえているのが嬉しいです。水引展示の出品者方々に感謝!感謝!です!! (愛)



北上市立鬼の館だより

第 63 号 2025(R7).10.1

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地

TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508